

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-188879

(43)公開日 平成10年(1998) 7月21日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup> 識別記号  
H 0 1 J 49/06  
49/30  
49/40  
49/42  
// G 0 1 N 27/62

F I  
H 0 1 J 49/06  
49/30  
49/40  
49/42  
G 0 1 N 27/62 L

審査請求 未請求 請求項の数29 F D (全 15 頁)

(21)出願番号 特願平9-159226  
(22)出願日 平成9年(1997) 6月2日  
(31)優先権主張番号 9 6 1 2 0 7 0 . 4  
(32)優先日 1996年6月10日  
(33)優先権主張国 イギリス (G.B)

(71)出願人 596142502  
マイクロマス・リミテッド  
Micromass Limited  
イギリス国 エム23 9エルゼット マン  
チェスター、ウィセンシャー、フローツ・  
ロード (番地なし)  
(72)発明者 ジェイムス・スピークマン  
イギリス国 シーダブリュ9 6ピーエ  
ヌ、 チェシャー、ノースウイッチ、ウイ  
ンチャム、アシュゲイト・レーン 2  
(74)代理人 弁理士 大橋 邦彦

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 プラズマ質量スペクトロメータ

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 イオン妨害を削減し、高い質量分解能、透過効率、伝達効率を得る。

【解決手段】 プラズマ質量スペクトロメータは、プラズマ2内へ導入した試料からイオンを発生させるプラズマ・トーチ1と、イオンを第1真空室11へ透過又は伝達させるノズルスキマー・インターフェース3、5と、イオン・ガイド手段12と、第1真空室を第2真空室から分割する穿孔されたダイアフラム18と、第2真空室内のイオン質量-対-電荷比分析器とを備える。イオン・ガイド手段は、多重極ロッド-セット13、14、15と、ロッド間にAC電圧を印加する手段と、不活性ガスをイオン・ガイド手段へ導入する手段22であり、ロッド-セット内の不活性ガスの分圧が少なくとも10-3トルとなるように為す手段22と、を備える。スペクトル中におけるAr+等による妨害ピークは、以上の構成によって低減される。

